

ゆるろ通信

2017年09月6日号

いかがお過ごしでしょうか、皆様？こんにちは「居場所」という木曜日スタッフの川澤岳也です。よろしくお願ひします！まずは最近のいろいろ内部の動きから。



実はこの所、というでは、木曜日に水曜日スタッフの石川君の協力のもと、カレーをやっていきます。救世軍さんが提供してくださったお米が古くなり始めたので、「いろいろのお米の備蓄を減らしましょうー」との命令のもと、石川君が猪肉カレー

を作ってくれています。8月17日と24日に開催され、大変好評でした（おいしかった！）また何かやるかもしれない。良かったら木曜のいろいろを覗いてみてください。

それと、前回のという通信で「本当の自分」ということに触れたんですけど、最近の私は日記にそのことを延々と書き綴っています。「え、どうしたの？」って感じですか？実は私の人生に「本当の自分」という単語が現れたのはひきこもり生活に入っていく入口の所だったんです。せっかくなので、今回はその話をしようと思います。ちょっと重たい話になる可能性はありますが、皆様、お付き合いください。

あれはもう14年前になるのですが、在籍していた大学の休学期間を使い切ってしまった私は、関東地方にある大学キャンパスへの復帰のハードルの高さに途方に暮れています。当時の私は、卒論の指導教官だった教授に「大学を至急辞めなさい」と迫られ、かなり追い込まれていました。その頃、偶然にもある人に「これから現れてくるのが「本当の」川澤くんです。その「本当のあなた」を認めてくれる人が居るところに行

った方がいいんじゃないかな？」と告げられたのをきっかけに、今でいう「支援者」に当たる人たちの間をさすらい歩くことになりました。それだけ心の余裕が無くなっていったんだと思います。しかし、皮肉なことに、「本当の自分」ということに直接言及した人が紹介してくれた人は本当の私に出会う道を妨げた人でした。とはいえ、その困った「支援者」を除いてもいろんな人に出会いました。自分の通っていた学校の先生（複数名）、私の所属した学校のOBで、県西部で医師をされている方、有名なNPOの代表、中学・高校とお世話になった塾の先生……。

ただ、今だから言えるのですが、人との出会いって、薬にもなれば毒にもなる、その事が当時の若かった私には判っていませんでした。その時に自分が望んでいた、「素晴らしい人物との出会い、そこには辿りつけませんでした。そればかりか肩透かしを食らい続け、おかしな人物に深く傷つけられ、本当に私のことを考えて付き合ってくれる、そういう人を避けて通ってしまいました。その苦しさからひきこもることになったのかも知れません。その当時の自分

には「ゆとり」がなかったからだと今でこそ振り返ることが出来ますが、自傷行為のような人間関係を繰り返していました。去年、あるところで、14年前に出会った母校のOBで、医師をされている方に偶然再会しました。その方はひきこもりの若者とその頃から会い続けておられるのですが、自分は一昔前にはその方に近づけなかったんです。見事に避けて通ってました。結果、苦しみが増したわけですが、自分の中にどうにもならない人間不信があったわけ、それを取り除くための回り道だったのだと思います。

△実例／おかしな塾教師

電話での会話で大学を辞めたいことを伝えると、「大学を辞めても食っていける人間は「才能」のある人間だ。」と語り始め、都合が合わなかった、と告げると「人間、右肩上がりの人生を歩まないといけないから都合が合わないなんて言っちゃダメだ。」と「リ押し」（注・その先生は東京での学生時代とアメリカ在住経験を経て今は高知に住んでいる）。その後、少しでもだけ譲歩の姿勢を見せたつもりなのだが、「確かに東京が合わない」

△B面に続く

コメント [川澤岳也1]:

△という通信口面

人はお金と才能がない人です」と悦に入る。人生の苦しさを訴えると、「勝ち組に入るためには、他人に負けないくらいにじゅんと頑張らないかん！」とぶんぞり返る。そこまで言い放った拳句にやっと病気が原因であることを聞いてくれたが、心の病気であることなどは聞こうとせず、「大学中退に対しては100パーセント反対やね。前向きな返事待ちます！」と捨て台詞。その時の会話は、ほとんどがその人の批判・主張・説教で終わる。私が通っていた大学で指導教官から「大学辞める！」ときつく迫られていたことは全く気付くこともない、まるで人の話を聞かない先生だった。電話だったので、こちらの状況が分からなかった可能性はあるが。にしても、これまで尊敬していた人物の内面を知ることになり、かなりショックを受けた一幕だった。

結局、他人との繋がりがって偶然を超えた必然で成り立っているのですが、その当時の私は人間同士のつながりの「仕組み」みたいなものがさっぱり判っていないかったです。も

ともつまつき易かったとは思いますが、危険な状態にありました。

この世界には「善意」と「悪意」が存在していて、本当に善意に沿って生きたいなら、それを本当に自分から進んで求めていかないと誰も助けてくれないということを知らなかつたんです！言い換えるならこの世に「善意」があること自体に気づいていなかったんですが、そのためか、他者から危害を加えられるような状況に陥り、病院を変わることにまりました。そのことについてはこれ以上言及しません。身から出た錆びですから。そしてひきこもり生活に入っていきました。なんでひきこもったのか、私の中でその問いかけに対する答えは未だ未完成のままなのですが、14年前の状況を振り返ることのできるようになった今になって思えば、「本当の自分」を探そうとしたからかも知れません。何か堂々巡りな文章になってしまっている気はしますが、今年の年初めに自分で立てた目標が「自分の中を整理したい」なので、丁度その時期が来たということでしょうか？

とまあ、ここまで長々と書いてきたんですが、例えば、さっきの「善

意」「悪意」について説くスピリチュアルな観点などから見れば「真面目」「辺倒」で行くことが必ずしも好ましいとは限らないそうです。むしろ、ユーモアのセンスなどが程よく散りばめられている文がトータルに見た時、レベルの高い文章だと見做されるそうです。その意味で、今月の試みは正直、非常に不安であります(苦笑い)。読み返してる時にあくびが何回も出ちゃったんですよ。自分で書いてて言うのもなんですが、「Jメンナサイ！では、また来月お会いしましょう！」

△今月の一枚

K君の写真から



居場所「ところ」の所在地は

〒781・5102

高知市大津甲969-3です。

TEL・FAXは

088-821-6519

メールアドレス

aqw3dr9k@gllobe.on.ne.jp

または

skatoro101@gmail.com

お便り、お待ちしております。

相談メール・友達メール・お尋ねメール何でもOKです。

△というスタッフからのお願い・初めて来所される方はどうぞお読みください

△というは月・水・木・土曜日の午前10時から午後4時までの間オープンしています。もちろん、アボなでの来所も構いませんが、出来れば来る前に居場所にお電話いただけると助かります。△というの近くまで来てくれたら迎えに行くことも出来ます。一度試しに覗きにおいでくれたらと思います。お菓子と飲み物(麦茶・ジュース)、この時期にはかき氷などがあります。漫画コーナーには「ジョジョの奇妙な冒険」文庫版 第一部と第四部が揃っています。間もなく第二部も揃います(川澤のおサイフ次第・・・)。